

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果概要について

吉野川市教育委員会

文部科学省が実施している「全国学力・学習状況調査」における吉野川市の結果の概要についてお知らせします。なお、本調査により測定できるのは、特定教科の学力の一部分や教育活動の一側面です。

1 はじめに

「全国学力・学習状況調査」は子どもの学力を把握し、学校での教育活動を充実させ、子どもの学習状況の改善に役立てることを目的に毎年4月に実施されています。

今回、吉野川市教育委員会におきましては、調査結果の概要の公表をとおして、学力や生活の特徴的な傾向を共有し、教育課題を改善するために、学校・家庭・地域が連携して、子どもたちのさらなる学力向上をめざしていきたいと考えていますので、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。なお、調査結果の概要ということで、学力や生活の特徴的な傾向が表れている内容について、現状や改善の方向性を示す形でまとめています。

2 調査の概要

(1) 調査目的

- ① 全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ② 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ③ ①②のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査対象

- ・ 小学校第6学年の全児童
- ・ 中学校第3学年の全生徒

(3) 調査内容

- ① 教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）
 - ・ 主として「知識」に関する問題（A問題）
 - ・ 主として「活用」に関する問題（B問題）※理科については、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に出題。
- ② 質問紙調査
 - ・ 児童生徒に対する調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活に関する調査内容）
 - ・ 学校に対する調査（指導方法に関する取組や学校における人的、物的な教育条件の整備などに関する調査内容）

(4) 調査日時

- ・ 平成30年4月17日（火）

3 全国学力・学習状況調査の分析結果

(1) 教科に関する調査結果

小 学 校 (吉野川市)

教 科	問 題	結 果
国 語	A	全体の正答率は全国正答率をやや上回っています。 全国正答率と比較して「読むこと」はやや上回り、「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は上回っていますが、「書くこと」は下回っています。
	B	全体の正答率は全国正答率をやや上回っています。 全国正答率と比較して「話すこと・聞くこと」は上回っており、「書くこと」「読むこと」はやや上回っています。
算 数	A	全体の正答率は全国正答率を下回っています。 全国正答率と比較して「量と測定」はほぼ同程度ですが、「数と計算」「図形」「数量関係」で下回っており、特に「数と計算」「数量関係」に課題があります。
	B	全体の正答率は全国正答率をやや下回っています。 全国正答率と比較して「数と計算」「量と測定」はほぼ同程度ですが、「数量関係」はやや下回り、「図形」は下回っています。
理 科		全体の正答率は全国正答率とほぼ同程度です。 全国正答率と比較して「主に知識に関する問題」は上回っていますが、「主として活用に関する問題」はやや下回っています。領域別では「生命」「地球」はほぼ同程度ですが、「物質」「エネルギー」は下回っています。

中 学 校 (吉野川市)

教 科	問 題	結 果
国 語	A	全体の正答率は全国正答率をやや上回っています。 全国正答率と比較して「話すこと・聞くこと」はやや下回っていますが、「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」はやや上回り、「書くこと」は上回っています。
	B	全体の正答率は全国正答率とほぼ同程度です。 全国正答率と比較して「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」はほぼ同程度、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は上回っています。
数 学	A	全体の正答率は全国正答率を上回っています。 全国正答率と比較して「数と式」「図形」「関数」「数量関係」の全ての領域で上回っています。
	B	全体の正答率は全国正答率をやや上回っています。 全国正答率と比較して「図形」はほぼ同程度、「関数」はやや上回り、「数と式」は上回っていますが、「資料の活用」はやや下回っています。
理 科		全体の正答率は全国正答率を上回っています。 「主として知識に関する問題」「主として活用に関する問題」とともに上回っています。 領域別では、「物理的領域」がやや下回っていますが、「地学的分野」はやや上回り、「化学的領域」「生物的領域」は上回っています。

(2) 設問別の主な集計結果

◇ 小学校国語 ◇

《身についていること》

- ① 相手や目的に応じて自分の伝えたいことについて適切な事例を挙げながら筋道を立てて話すこと。
- ② 話し合いの際に、司会の役割を果たしたり、立場や根拠を明確にしたりして話し合うこと。

《身につけさせたいこと》

- ① 主語や述語の関係などの文法や敬語のルールに従って話したり書いたりすること。
- ② 複数の資料を活用し、自分の考えを明確にして意見をまとめたり書いたりすること。

◇ 小学校算数 ◇

《身についていること》

- ① 種類の異なる二つの量を比べるために単位あたりの大きさを使うこと。
- ② 180度の角の大きさを理解すること。

《身につけさせたいこと》

- ① 円の性質や割合について理解し、活用すること。
- ② 表やグラフから読みとったことや、算数の考え方を活用して問題の解き方を説明すること。

◇ 小学校理科 ◇

《身についていること》

- ① 理科で学習する事象について科学的な言葉や概念を理解すること。
- ② 二つの実験結果を分析し、より妥当な考えを作り出すこと。

《身につけさせたいこと》

- ① 既習事項を活かし、予想し、見通しを持って実験に臨むこと。
- ② 実験結果から分析・考察し、その内容を説明したり、もの作りに活かしたりすること。

◇ 中学校国語 ◇

《 身につけていること 》

- ① 語句や漢字を文脈上の意味や働きに留意しながら読んだり，書いたりすること。
- ② 質問の意図や話の展開に即して聞いたり読んだりし，構成を考えて話したり書いたりすること。

《 身につけさせたいこと 》

- ① 行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。
- ② 体験をふまえ，複数の資料を活用し，自分の考えを明確にして書くこと。

◇ 中学校数学 ◇

《 身につけていること 》

- ① 数直線上に示された負の整数を読みとることや，単項式どうしの除法の計算をしたり，簡単な比例式を解いたりすること。
- ② 空間における直線や平面の位置関係を理解し，平面図形の回転等，運動によって構成される空間図形を想像すること。

《 身につけさせたいこと 》

- ① x と y の関数について， x の値の変化に伴う y の増加量を求めたり，一次関数の意味を理解し，一次関数を用いて具体的な事象を説明したりすること。
- ② 確率の意味を理解し，集めたデータを活用する際に確率を用いること。

◇ 中学校理科 ◇

《 身につけていること 》

- ① 動物，植物について基本的な知識を身につけること。
- ② 初期微動と震源からの距離の関係を理解し，活用すること。

《 身につけさせたいこと 》

- ① 台風の周りの風向きを表した図から観測地点における風向きを予想すること。
- ② 自然の現象や日常生活で目にする事象から身に付けた知識を用いて多面的に考察すること。

(3) 質問紙による調査結果

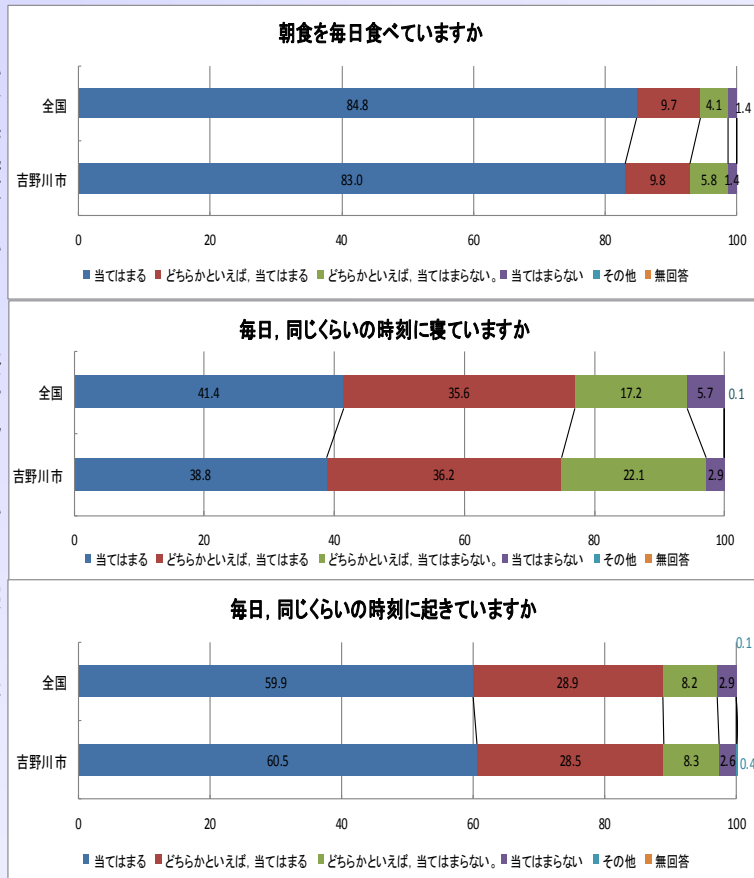
小学校

《基本的な生活習慣等》

- 朝食を毎日食べていますか
- 毎日、同じぐらいの時刻に寝て(起きて)いますか

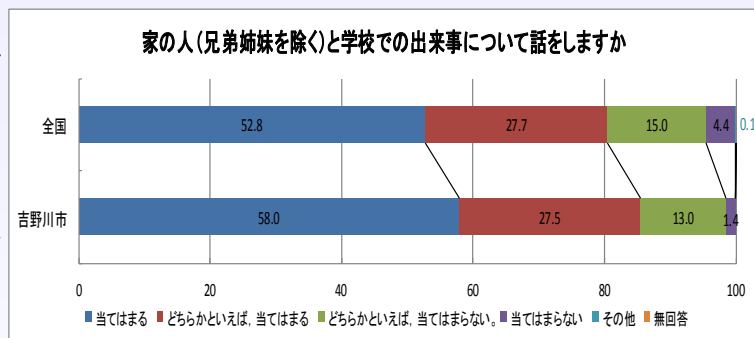
全国平均と比較すると、「毎日朝食を食べている」、「毎日、同じ時刻に寝ている」と回答した児童の割合が下回っていました。「毎日、同じぐらいの時刻に起きています」と回答した児童の割合は、ほぼ同程度でした。就寝時刻が一定していない人が多い傾向にあります。

寝る時刻、起きる時刻を一定にして生活リズムを整え、朝食で脳にエネルギーを与えることは、毎日元気に生活や学習をするためにも重要な役割を果たします。生活のリズムについて自分で意識し、改善できるように心がけていきましょう。また、起きる時刻・寝る時刻について家族で話し合ったり、朝ごはんをしっかり食べられるように工夫したり、ご家庭でもご協力をお願いします。



- 家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか

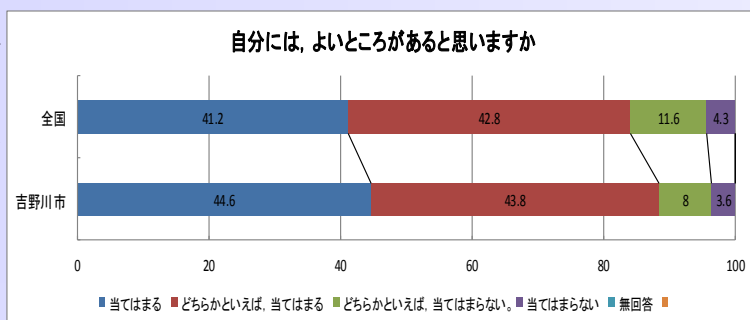
全国平均と比較すると、「家の人と学校での出来事について話す」と回答した児童の割合が上回っていました。学校と家庭がともに子どもたちをより良く育てていくためにも、より一層子どもの話を聞いていただきますようお願いします。



《規範意識，自己有用感等》

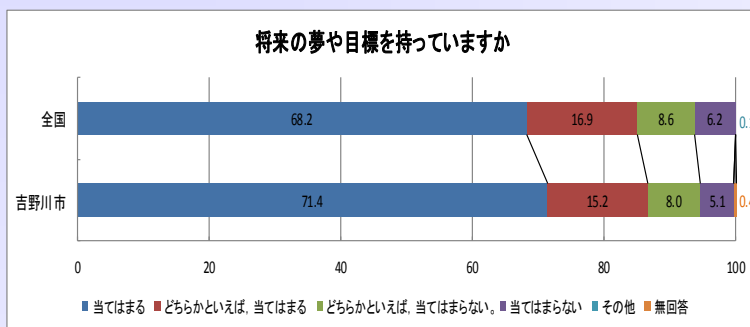
○ 自分には，よいところがあると思いますか

全国平均と比較すると，「自分には，よいところがあると思う」と回答した児童の割合が上回っていました。自己肯定感の高い子どもはのびのびとした気持ちで生活や学習ができ，全国学力学習状況調査でも教科の平均正答率が高いという結果が出ています。生活や学習の場面で自分の良いところを見つけていきましょう。



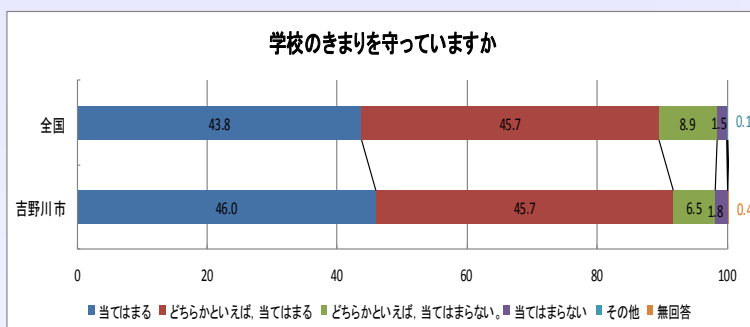
○ 将来の夢や目標を持っていますか

全国平均と比較すると，「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童の割合が上回っていました。自分の将来の夢や目標をかなえるために，今できることは何か考え，一つずつ実行していきましょう。



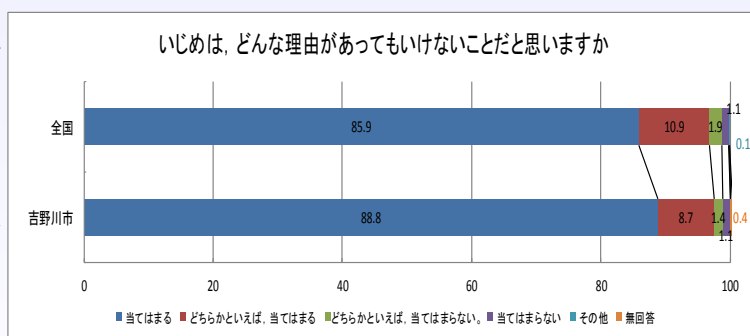
○ 学校のきまりを守っていますか

全国平均と比較すると，「学校のきまりを守っている」と回答した児童の割合が上回っていました。学校で安全・安心に過ごすために，ルールの意味を理解して，これからも学校のきまりを守っていきましょう。



○ いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか

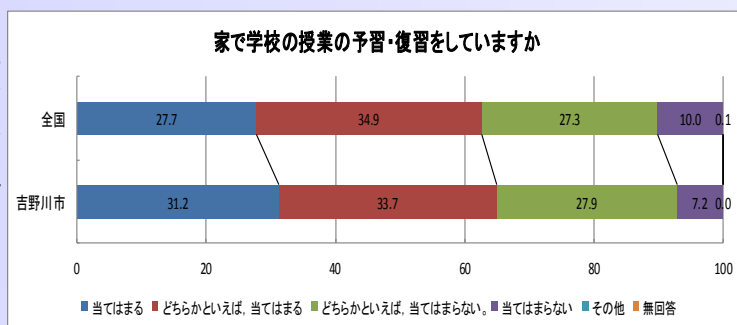
全国平均と比較すると，「いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童の割合が上回っていました。いじめを許さないという雰囲気が学校の中で大切にされていることは，とてもいい傾向です。



《学習習慣等》

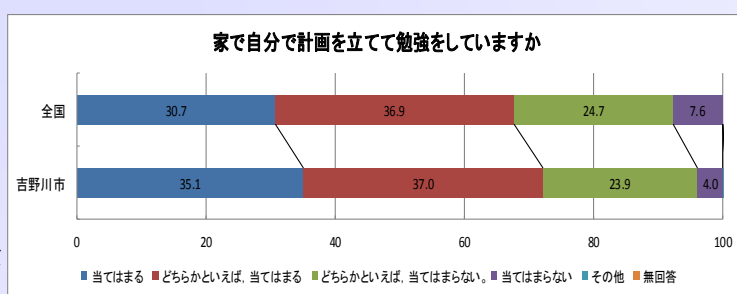
○ 家で学校の授業の予習・復習をしていますか

全国平均と比較すると、「家で予習・復習をしている」と回答した児童の割合が上回っていました。効果的な学習になるように「家庭学習の手引き」等を参考にしましょう。



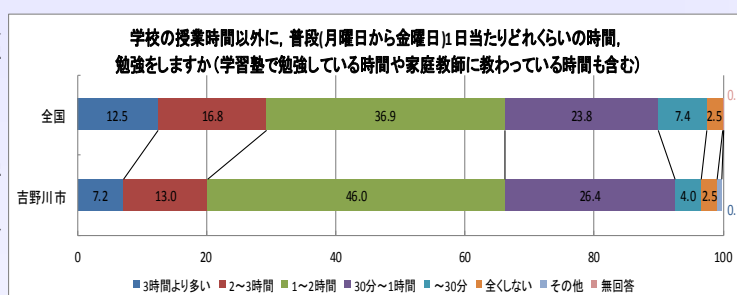
○ 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

全国平均と比較すると、「家で自分で計画を立てて勉強している」と回答した児童の割合が上回っていました。計画を立てて自習することは、見通しを立てたり、わかっていることとそうでないことをはっきりさせたり、自分に合った学び方を考えたりすることにつながります。計画的に学習に取り組みましょう。



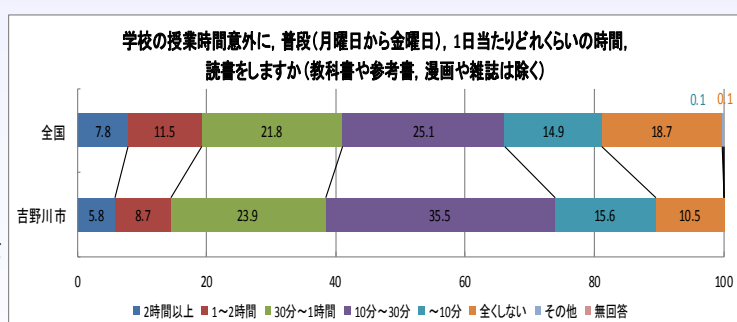
○ 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)

約65%の児童が授業以外で1日あたり1時間以上学習をしていることがわかります。毎日1時間学習ができてきているのは、いい傾向です。毎日一定の時間家庭学習ができるように心がけ、少しずつ長くできるよう努力していきましょう。



○ 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)

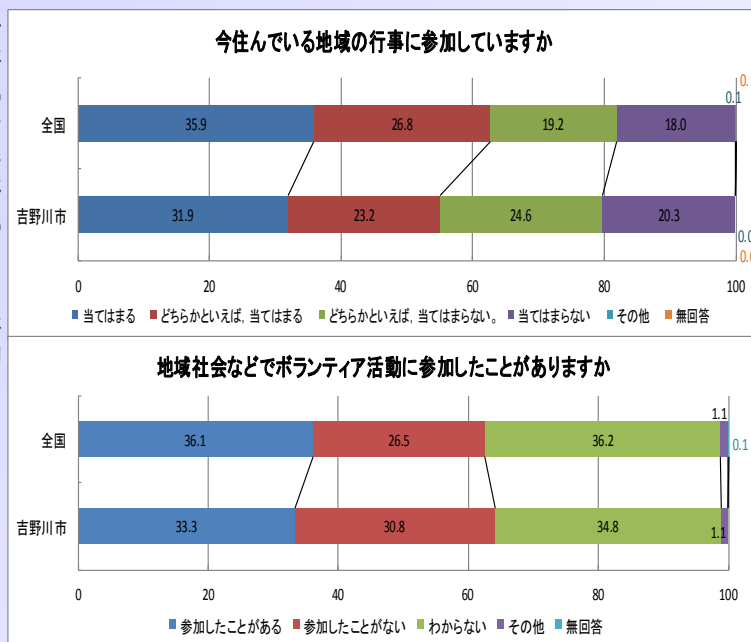
全国平均と比較すると、「読書を全くしない」と回答した児童の割合が低く、日頃から読書ができている人が多いことがわかります。自分の時間を上手に活用して、適切な時間読書をするのが習慣になるよう心がけましょう。



《地域や社会に関わる活動の状況等》

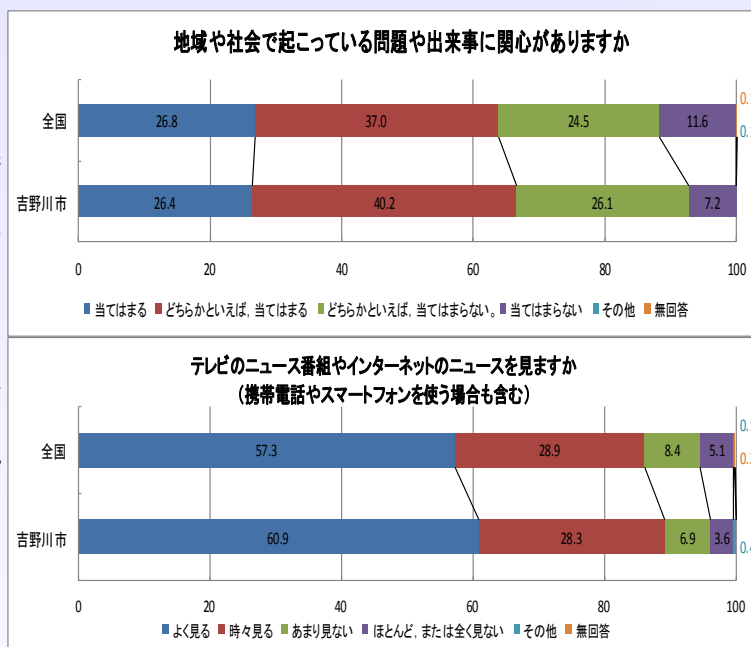
- 今住んでいる地域の行事に参加していますか
- 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか

「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童の割合は約55%でした。また、「地域社会などでボランティア活動に参加したことがある」と回答した児童の割合は約30%でした。地域の行事やボランティア活動への参加は、家庭や学校生活だけでは味わうことのできない活動や、多様な人との関わりを体験することができます。また、それらの体験を通して地域の姿や、社会貢献について学ぶこともできます。できることから参加していきましょう。



- 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか
- テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使う場合も含む）

「地域や社会で起こっていることに関心がある」と回答した児童の割合は、65%を超えていました。また、「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る」と回答した児童の割合は約90%でした。地域や社会の問題・出来事に関心を持っていることはとてもよい傾向です。さらに、学校での学習と身のまわりの出来事を結びつけて考えてみましょう。地域や社会への理解が深まり、自分の世界が広がります。



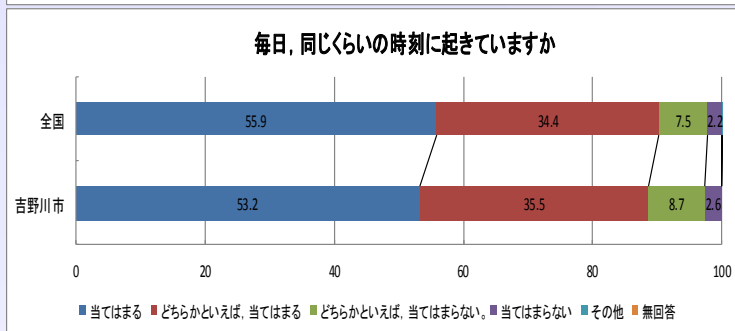
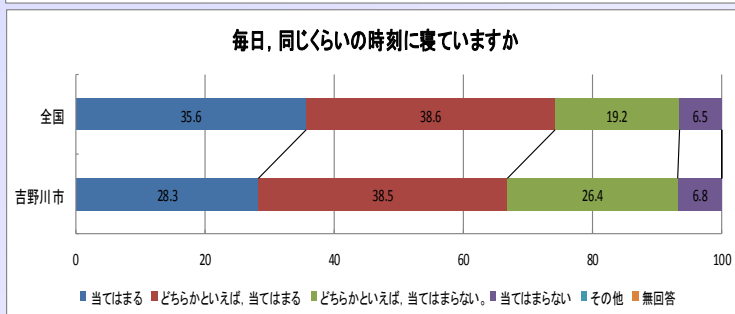
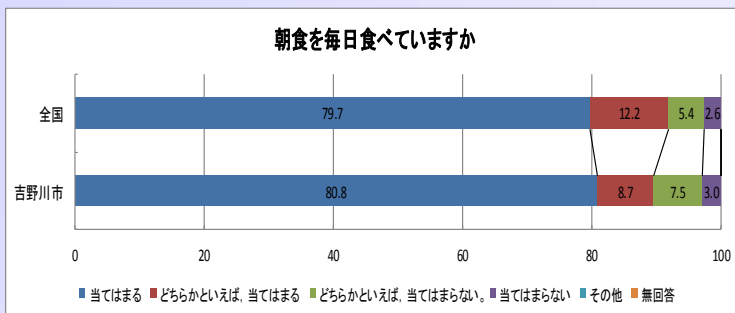
中学校

《基本的生活習慣等》

- 朝食を毎日食べていますか
- 毎日、同じくらいの時刻に寝て（起きて）いますか

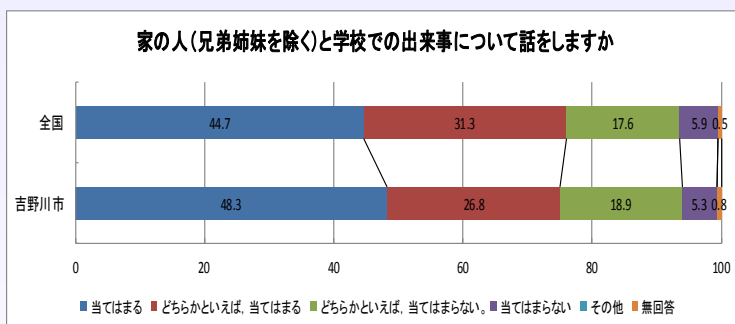
「朝食を毎日食べている」、「毎日同じくらいの時刻に寝て（起きて）いる」と回答した生徒の割合が下回っていました。特に、寝る時刻については30%以上の生徒が日によって差があり、生活のリズムづくりに不安定な要素になっていることがわかります。

本人が中学生としての自覚を持ち、自分の時間や健康を管理しようとするのが大切です。すべきこととしたいことのバランスを考えて計画的に時間を使い、睡眠時間を確保するなどして、生活のリズムを整えていきましょう。また、家庭でも意識づけを行い、「早寝・早起き・朝ごはん」が習慣化するようにご協力をお願いします。



- 家の人（兄弟姉妹は除く）と学校での出来事について話をしますか

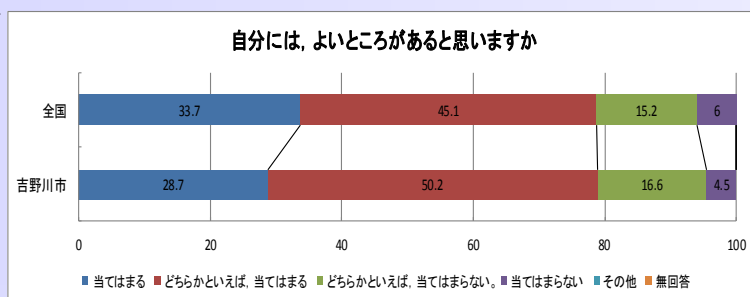
「家の人と学校での出来事について話をする」と回答した生徒の割合は、約75%でした。学校での出来事を話すことで、思いや悩みが共有され、ストレスの解消や心の安定につながります。家庭で話す機会を持てるよう、心がけていきましょう。



《規範意識，自己有用感等》

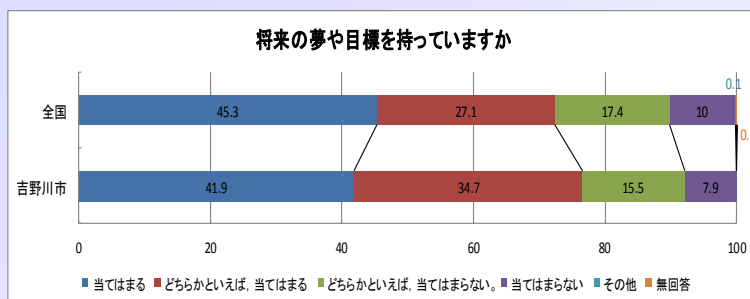
○ 自分には，よいところがあると思いますか

「自分にはよいところがあると思う」と80%弱の生徒が回答しました。昨年度と比較すると，15%上昇しています。生活や学習の様々な場面で自分のよいところを自覚することや，周りの友達や大人がよいところを伝えていくことで，さらに自己肯定感が高まります。



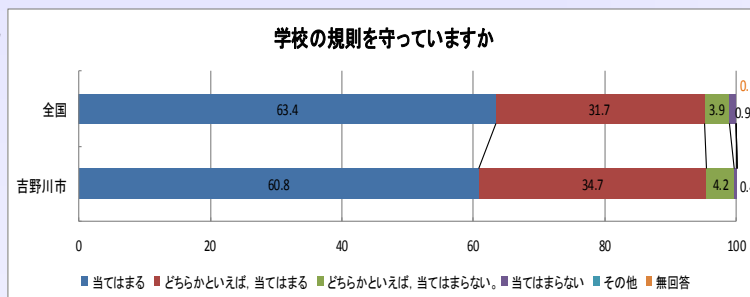
○ 将来の夢や目標を持っていますか

「将来の夢や目標を持っている」と回答した生徒の割合が約75%でした。自分の夢や目標を具体的にイメージすることで，今つけておきたい力や，努力すべきことがはっきりしてきます。毎日の生活にも具体的な目標を持って取り組むことができるでしょう。



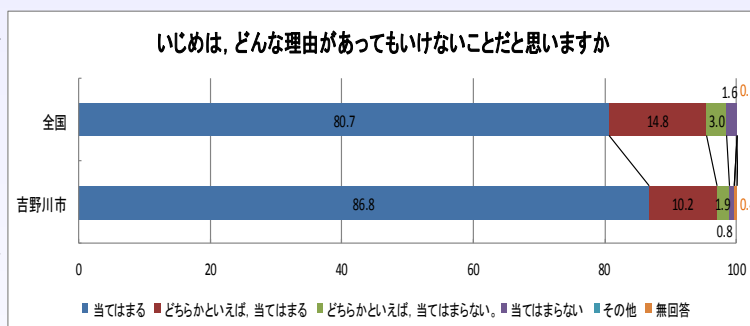
○ 学校の規則を守っていますか

95%以上の生徒が「規則を守っている」と回答しました。大変よい傾向です。規則を守ることの大切さとともに，規則の必要性や意味についても考え，お互いが気持ちよく生活し，学習できる環境を大切にしていきたいでしょう。



○ いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか

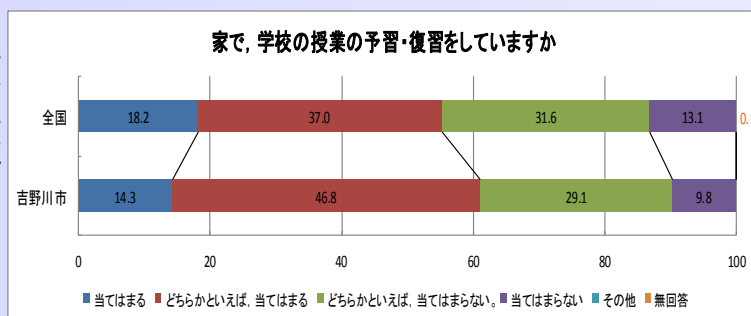
全国平均と比較すると，「いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した生徒の割合が上回っていました。これからもいじめを許さない気持ちを強く持ち，安心して生活や学習のできる学級や学校にしていきたいでしょう。



《学習習慣等》

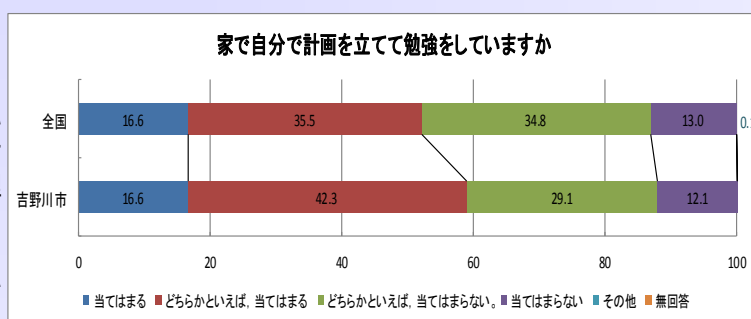
○ 家で学校の授業の予習・復習をしていますか

全国平均と比較すると、「家で予習・復習をしている」と回答した生徒の割合が上回っていました。しかし、約40%の人が予習復習に取り組めていないようです。予習復習をすることで授業への理解が深まります。毎日継続していきましょう。



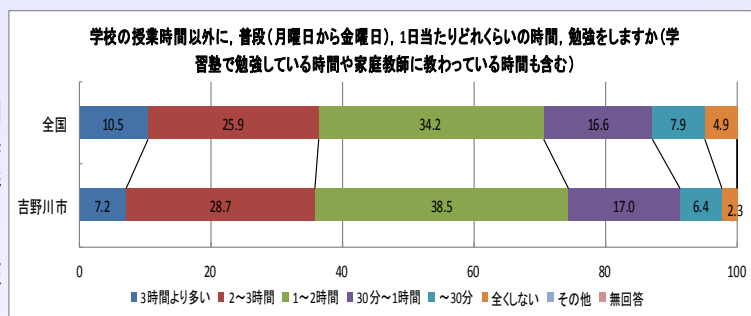
○ 家で自分で計画を立てて勉強していますか

全国平均と比較すると、「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒の割合が上回っていました。家庭学習の進め方を考えることは、自分の理解度や学び方について考えることにもつながります。まずはテスト前の学習等から始めましょう。



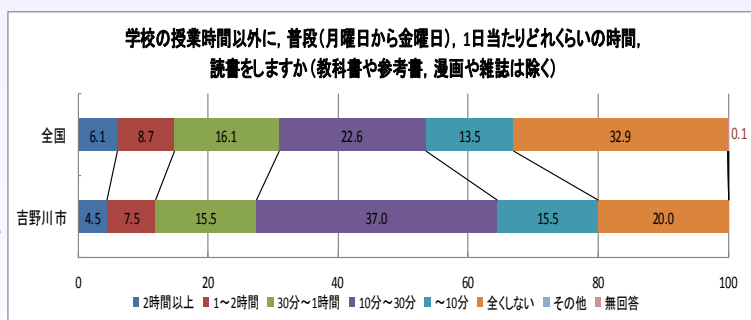
○ 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

全国平均と比較すると、「毎日2時間以上家庭学習する」と回答した生徒の割合が下回っていました。毎日一定時間の家庭学習を継続することはとても大切です。中学3年生としては、少なくとも2時間以上家庭学習に取り組ましましょう。



○ 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

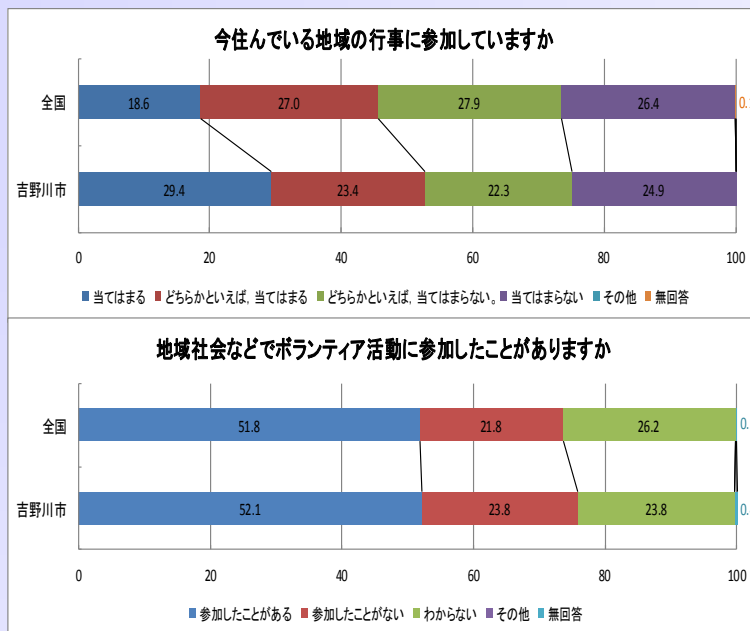
全国平均と比較すると、「読書を全くしない」と回答した生徒の割合が低く、ある程度習慣的に読書ができているようです。自分の時間を上手に活用し、適切な時間読書ができるよう心がけましょう。



《地域や社会に関わる活動の状況等》

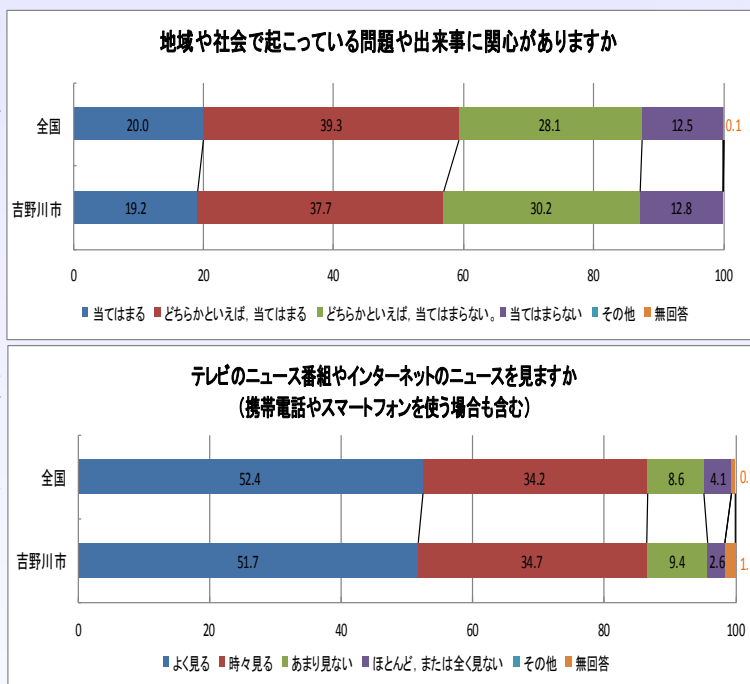
- 今住んでいる地域の行事に参加していますか
- 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか

全国平均と比較すると、「今住んでいる地域の行事に参加している」「地域社会などでボランティア活動に参加したことがある」と回答した生徒の割合が上回っていました。地域の行事やボランティア活動など自分が参加できることを探して参加することで、自分の住んでいる地域や社会の仕組み、社会貢献などについて知ることができます。また、様々な人とつながり、コミュニケーション能力も身に付きます。積極的に参加していきましょう。



- 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか
- テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使う場合も含む）

全国平均と比較すると、「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」と答えた生徒の割合が下回っていました。一方、「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る」と回答した生徒の割合は約85%で、全国平均とほぼ同程度でした。多くの生徒がニュースに興味関心を持っていることがわかります。テレビやインターネットで得られる情報と地域や社会で起こっている問題や出来事はつながっています。問題意識を持ってテレビやインターネット等のニュースを視聴し、社会や地域への理解を深めていきましょう。



(4) 吉野川市の学力向上への取組

- ① 「学力向上実行プラン」の目標や内容等を全職員で共通理解し、学力向上推進員を中心に、基本的な生活習慣の確立や授業改善等について、組織的な取組を推進しています。
- ② 毎時間授業のめあてとまとめを示し、1時間の授業のねらいを明確にするとともに、児童生徒にとって「分かりやすい」授業の実践に取り組んでいます。
- ③ 言語活動の充実を図るとともに、ICT環境を整え、「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）」にも取り組んでいます。
- ④ 各校の実態に応じて、ドリル学習やミニテストなどを実施し、基礎的基本的な学力の定着を図っています。
- ⑤ 「家庭学習の手引き」を作成し、児童生徒と保護者への啓発のために配布して、活用しています。
- ⑥ 子どもたちの学力をつけるため、講師を招いての校内研修や授業研究を行い、教師の指導力、授業力の向上に努めています。
- ⑦ 市教育委員会主催の研修を行い、教職員の資質向上と学校マネジメント力の向上に努めています。
- ⑧ 特別支援教育についての理解を一層深め、個に応じたきめ細かな指導や児童生徒の特性に合った指導方法の工夫等に取り組んでいます。
- ⑨ 地域と連携し、教育内容と教育活動に必要な人的・物的資源を効果的に活用しています。